

# 校歌



## 校歌

相馬 御風 作詞  
宮原 禎次 作曲

一、太平山の凜たる勇姿

清河旭川の淀まぬ心

勤労の精 質実の徳

金砂健児の指さす所

希望の光 世界を輝らす

二、物皆凍る寒風おろし

身を焼く炎暑何かはあらん

剛健の意気 不断の努力

金砂健児の勢力見よと

黒煙日毎 天へと沖す

三、進みて止まぬ科学の力

我が身に体し工業界の

未来の使命 肩にぞ担ふ

金砂健児が御国に誓ふ

忠誠これぞ 不滅の生命



旧校舎



前校舎



現校舎

たいへいざんのりんたるゆうしせいがあ  
さひのよどまぬこころぎんろうのせい  
しつじつのとくかなさーけんじのゆびさす  
ところぎぼうのひかりせかいをてらす

●秋工の校歌制定は、1926(大正15)年。